

TEGOネットだより浜田



「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成20年9月9日 第16号
浜田市農林業支援センター

はじめに

畑作においては雑草対策に苦慮しておられることと思います。「スベリヒユ」という雑草をご存知でしょうか。以前テレビでこのスベリヒユを食用にされている報道がありましたので、私も新たな挑戦として、おひたしにして試食してみました。食感はオクラと同じく少しヌメリがあって、歯ごたえもあり意外に美味なものでした。雑草を食して除草するのも対策のひとつかもしれません。ぜひ挑戦してみてください。雑草を食して除草するのも対策のひとつかもしれません。ぜひ挑戦してみてください。
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームの活動について

★ 新規就農支援チーム (担当: ^{かわうち}河内・^{ささもと}佐々本)

シリーズ「販売価格について」その②

前回は販売単価について掘り下げましたが、このテーマについて補足説明をさせていただきます。就農計画に記載する販売単価を設定する時には、市場価格を参考にすることがあります。調べる方法としては、インターネットで「**広島市中央卸売市場**」のホームページを検索して必要な市況情報を入手し、3年程度の価格推移を調べて平均単価を算出するのが通例です。しかしながら、市場価格は産地の知名度や特色などに大きく左右される場合があるので、注意が必要です。【次号に続く】

● 認定農業者支援チーム (担当: ^{まえはら}前原・^{まつい}松井)



8月26日(火)に開催した「**浜田市認定農業者連絡協議会(仮称)組織化検討委員会**」について報告します。

これまで、認定農業者の活動は個々の経営が主で、地域や営農類型を越えた交流が活発に行われているとは言えない状況でした。このような中、支援センターでは、**認定農業者同士がつながりを持ち、情報交換することでお互いの意識や技術を高めていくことができるのではないかと考え、認定農業者の組織化について検討するこの委員会を立ち上げました。**

当日は自治区や営農類型の異なる5名の認定農業者の皆さんに集まっていただき、「認定農業者同士の情報交換の場があれば良い」、「新たな組織を立ち上げる必要はあるのか?」といった率直な意見をいただきながら、市、JA、県の担当職員を交えて話し合いました。

これからも当委員会での協議を重ね、認定農業者の経営改善につながるような組織のあり方を探っていきたいと思います。

■ 集落営農組織支援チーム (担当: ^{つかもと}塚本・^{もりい}森井)

8月6日(水)・7日(木)に兵庫県神戸市で開催された「**集落営農リーダー・担当者交流会**」に出席しました。この集会には全国各地から約200名の参加があり、集落営農に対する関心の高さが伺えました。

兵庫県立農林水産技術総合センターの専門技術員による基調講演に続いて、28年間赤字を出さずに集落営農に取り組んでいる兵庫県の「**山田営農組合**」と、設立2年目を迎える宮城県の「**下新田上集落営農組合**」の事例報告がありました。

「山田営農組合」には、集落内の全農家99戸が加入しており、長い間集落営農を続けるための秘訣として、「世帯主だけでなく、女性や子供など、組合員全員の意向を把握していること」、「一人一人にそれぞれ役割を与えること」を挙げられました。また、「後継者は、家ではなく地域で育てるものだ」と話され、『**みんなが参加できる村づくり**』の重要性を力説されました。

一方、「下新田上集落営農組合」は、農業生産活動のみならず、集落のメンバーの特技を活かした交流活動にも力を入れている様子でした。「**集落営農には女性のパワーが不可欠である**」との言葉もあり、集落営農の女性活動促進に取り組む当支援センターの職員は大きな感銘を受けました。



2. 軽油引取税の免税措置を活用しませんか？

原油価格の高騰が農業経営を圧迫していますが、燃料コストの節減対策のひとつとして、「**農業従事者が農業用機械に軽油を使用する場合、軽油引取税の課税が免除になる措置**」をお勧めします。「軽油引取税」は軽油に対して課される県税で、道路整備費用に充てられるために設けられた目的税です。しかし、手続きをすれば販売店にて**免税価格（1リットル当たり32.1円引き）**で購入することができます。

申請書の提出先は、島根県浜田合同庁舎1階の西部県民センター課税第一グループ(Tel0855-29-5519)ですが、支援センターでも申請手続きの相談に応じます。敬遠されがちな書類作成のお手伝いもしますので、お気軽にお問い合わせください。

また、6月30日からは、農作業受託者が「農作業のうち基幹的な作業の全ての委託を受けて農作業を行う場合」にも免税措置が受けられるようになりました。ぜひこの機会にご活用ください。

島根県のホームページ ⇒ <http://www.pref.shimane.lg.jp/life/zei/ken/info/oshirase/keiyu-nousagyou.html>

3. 遊休農機具あつ旋コーナー【譲ります】

前号で遊休農機具の情報を募集したところ、早速ご連絡をいただきましたので紹介します。

今回は、藁切りなどに使用する「**押し切り**」(2台)です。いずれも刃渡り約35cmで、昭和56年頃に購入されたものですが、まだまだ活躍できそうです。価格は1台1,000円程度を希望されています。購入を希望される方、現物を見たい方は、支援センターまでご連絡ください。所有者の方に取次ぎます。



また、**遊休農機具情報は随時募集しています**。他人に譲っても良い農機具があればお知らせください。

4. 「有機農業大学講座 in 島根・浜田」の開催について（ご案内）

有機JASマーク



食の安全・安心に対する関心の高まり、環境負荷への低減などから、有機農業の推進が図られており、国においても有機農業推進法などが制定されています。浜田市でも地域によっては有機農業への取組が活発になってきましたが、全域で見るとまだまだ広がっていないのが現状です。

そこでこの度、有機農業の専門家に講師になっていただき、有機農業について総合的に学べる『**有機農業大学講座**』が浜田市で**10月7日(火)・8日(水)**に開催されることになりました。

別紙のチラシを参照の上、奮ってご参加いただきますようご案内します。

【申込締切：10月1日(水)】

5. 今後の行事予定

- 10月4日(土) 午前9時～ 有機農業実践セミナー（第6回） 会場：弥栄会館
- 10月7日(火)・8日(水) 有機農業大学講座 in 島根・浜田 会場：島根県立大学交流センター（浜田市野原町）
- 11月8日(土) 午前9時～ 有機農業実践セミナー（第7回） 会場：弥栄会館
- 11月12日(水)～14日(金) 担い手先進地視察研修会（第11回全国農業担い手サミット in みえ）

■■ 編集後記 ■■

石見ケーブルビジョンの行政情報番組「浜っ子タイムズ」。今月は、当支援センターの^{まえばら}前原が出演し、センターの取組や浜田市の特産果樹について紹介します。

放送は9月11日(木)、13日(土)、18日(木)、21日(日)の夕方です。本人によると、「収録当日は緊張のあまり何度もNGを出してしまった」とのことですが、本番に強い彼のこと、きっと謙遜しているだけだと思います。支援センターを代表するイケメンの活躍を皆さんもどうぞお楽しみに！

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様には配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発行元 浜田市農林業支援センター TEL：22-3500 FAX：22-3477
E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp

主催・内容問合せ先

NPO法人

有機農業技術会議 事務局

〒390-1401 長野県東筑摩郡波田町5632

(財)自然農法国際研究開発センター 農業試験場内

Email: office@ofrc.net FAX: 0263-92-6808

有機農業大学講座

in 島根・浜田

地域の環境と密接なつながりをもつ農業、自給率向上の切り札であり持続性のある農業、すなわち有機農業の推進を法律で定め、地方自治体でも有機農業推進への取り組みがなされようとしています。

しかし、有機農業を理解している方が少ないのが現状です。有機農業とはどういう農業なのか、化学肥料と農薬を使わなければ有機農業なのか、日本の農業を

有機農業に転換することは可能なのか、などなど質問、疑問は尽きません。

そこで、有機農業技術会議では、有機農業にご造詣の深い専門家の方々に講師になっていただき、有機農業について総合的に学べる場「有機農業大学講座」を開催することにしました。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2008年

10月

7日(火)

↓

8日(水)

参加費

1,000円

(賛助会員無料)

後援(含申請中)

農林水産省・島根県・浜田市・島根県立大学・JA島根中央会・島根有機農業協会

10月7日(火)

- 9:30 受付開始
- 10:00 開講式
- 10:30 講座1「有機農業の定義」 西村和雄氏 (有機農業技術会議)
- 11:30 昼食休憩
- 12:30 講座2「堆肥・土づくり」 橋本力男氏 (堆肥・育土研究所)
- 14:10 講座3「百姓のひとりごと」 佐藤忠吉氏 (木次乳業)
- 15:00 圃場視察 三浦大輔氏 (いわみ地方有機野菜の会)
- 17:30 終了 ※終了後、懇親会 (於: 島根浜田ワシントンプラザ)

10月8日(水)

- 9:00 受付開始
- 9:30 講座4「島根県における有機農業の動きと今後の展望」 井口隆史氏 (島根大学名誉教授)
- 11:00 島根県の有機農業の取り組み 島根県農畜産振興課 福原匠史氏 (吉賀町) 佐々木一郎氏 (佐々木農場)
- 12:30 昼食休憩
- 13:30 交流・意見交換会 (栽培技術、販路、新規参入の3部屋に分かれて)
- 15:30 終了 ※終了後、有機農業の相談会 (参入・転換・技術など)

申込先

島根県農林水産部農畜産振興課
有機農業グループ

〒690-8501

島根県松江市殿町1番地

FAX: 0852-22-6036

Email: isihara-

makiko@pref.shimane.lg.jp

会場 島根県立大学 浜田キャンパス 交流センター

〒697-0016

島根県浜田市野原町2433-2

- JRでお越しの場合
松江～浜田: 約1時間半
博多～新山口～浜田: 約3時間半
 - バスでお越しの場合
広島駅新幹線口～浜田: 約2時間
梅田～浜田: 約6時間
- ※駐車場ございます。



2008年10月7日～8日

於：島根県立大学浜田キャンパス 交流センター

有機農業大学講座 in 島根・浜田

参加申込書

氏名	所属・都道府県	参加日		懇親会 (5,000円)
		7日	8日	
例：有機 花子	例：有機農業技術会議・島根県	○	○	○

- 参加ご希望の方はこの参加申込書を島根県農林水産部農畜産振興課有機農業グループまでFAXまたはE-mailにてお送りください。会費は当日頂きます。
- 参加費は両日でも、1日だけでも計1,000円（技術会議賛助会員無料）となります。
- 個人参加者は都道府県のみ御記入ください。

申し込み締め切り、10月1日

申込用紙送り先

島根県農林水産部農畜産振興課有機農業グループ

内容問い合わせ先

NPO 法人有機農業技術会議事務局

長野県東筑摩郡波田町 5632

FAX : 0263-92-6808 E-mail : office@ofrc.net